

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

医療保険改悪法を強行、成立!

引き続き、安全・安心の医療・介護を実現する大運動を地域で広げよう

5月27日、参議院本会議で「医療保険制度改革関連法案」が自民、公明、維新などの賛成多数で強行成立されました。

成立した法律は、国民のいのちと人間らしく生きる権利を奪い、保険料の値上げ、患者の負担増などが盛り込まれ、国民皆保険制度を解体に導く悪法であり、強行採決に断固として抗議するものです。

「医療保険制度改革関連法案」の審議時間は参考人質疑をあわせても、衆議院は22時間、参議院は23時間程度で、国民のいのちと暮らし、将来に関わる重要な法案でありながら



議員小池で報告する抗議集会面議

短時間の審議となりました。

審議では、与野党を問わず、法案に対する懸念が次々に出され、問題点も明らかになりました。しかし、政府与党は、「法案成立後に関係審議会等で詳細は決める」などの答弁に終始し、正面から答弁することはありませんでした。このような審議を経ての強行採決は、患者・国民の声に耳を傾けることのない数の力による暴挙であり、議会制民主主義の否定でもありません。

安倍首相は、小泉政権時を上回る社会保障費抑制路線を進めながら、消費税増税を強行しました。さらに、「財政制度等審議会」では、財務省が更なる削減計画を提案しています。これ以上の社会保障削減は断じて許せません。

引き続き、「戦争法案」「労働者派遣法改悪法案」「社会福祉法人改悪法案」等につきばりと反対し、「戦争と社会保障は相いれない」との世論を広げ、安倍暴走政権ストップの声と要求を掲げ、社会保障拡充運動を広げて行きます。

国会議員要請・傍聴行動

東京社保協は、医療保険制度改革法案の国会審議を通じて、国会議員要請行動や、国会前集会、委員会傍聴行動に取り組みできました。

参議院では、審議入りの5月13日を皮切りに、5月14日、19日、20日、21日、26日と連続して国会行動と厚労委員会・参考人質疑、5月27日の本会議などの傍聴行動に取り組みました。

また、東京社保協は中央社保協と共催で5月19日、26日に院内集会、5月21日にはヒューマンチェーン会議主催の緊急国会内集会に取り組みました。この行動を通じて、全国から寄せられた約154万筆（東京約12万筆）の署名を国会議員に託しました。



154万筆の署名を提出

「安全・安心の医療・介護大運動」地域宣伝行動

桐ヶ丘団地宣伝行動

5月15日、「安全・安心の医療・介護大運動」東京集会実行委員会として、都営桐ヶ丘アパート宣伝行動に取り組みました。この宣伝行動には、実行委員会参加団体をはじめ当該地域である北区社保協や板橋橋社保協から約30人が参加しました。

猛暑の中、都営桐ヶ丘アパートの約2千戸に対して、「憲法いかして安全・安心の医療・介護の実現を求める」署名付きハガキを全戸配布し、並行して宣



行動前の打ち合わせ風景

伝カーによる宣伝行動も行いました。

宣伝行動の参加者からは、「全戸配布のつもりで各号棟を回ると一つの号棟に数件の高齢者がすんでいるだけの号棟が多くあり、併設の商店街があるもののシャッター商店街と化し、高齢化が進む中で「孤立」の不安がよぎる風景でした。」との報告がありました。



人通りの全く無い商店街

町田社保協

町田社保協総会が、4月25日(土)に開催され8団体12人が参加しました。

浦田会長の「社保協が地域のために活動を進めて行きたい」との挨拶をうけ、事務局長より、①本年度はまちだ・さがみ総合法律事務所と日本共産党町田地区委員会が新たに加入し

11団体の加入になったこと。②3年間不在だった会長等が決まったこと。③毎回幹事会でミニ学習会を実施したこと。④自治体キャラバン等に参加したこと。などが報告されました。

討論では、町田地区労から町田リス園での労働組合の結成報告。共産党からは、市議会での新年度予算が市長提案通り可決され、四つの公園整備計画に巨額な費用がかかるため、学校の備品費がゼロになり、学校が困惑しているとの報告がありました。

方針では、東京社保協とともに社会保障解体攻撃をストップさせる運動と、さらなる組織強化・充実を行っていくことを確認しました。

最後に、新副会長の池田氏より、「政府は憲法25条に逆行、互いに励まし協力して活動しよう」との閉会あいさつで総会を終了しました。

総会終了後、第2部として学習会を、町田南第1高齢者支援センターの江川センター長を講師に、高齢者支援センターの紹介と第6期町田市介護保険事業計画の説明をしていただきました。

講演では、介護保険「改正」として、①町田の基準保険料額

が5390円に。②特養の新規入居者は要介護3以上になるが、特例入居者は市の意向が強く反映される。③8月からサービス利用料が2割になる人がでること。④町田市は、17年4月から要支援の訪問・通所介護が市の事業に移行し、生活支援コーディネーターがサービス等を振り分けること。⑤要支援を新制度では、チェックリストで判断するが、第6期の中味はまだ決まっていないことが多いこと。などが話されました。

この学習会には18人が参加し、地域の人材活用に学習の保障と介護者のプライバシーを守るのかなど、多くの質問が寄せられました。

(事務局長 八柳 ひろ子)



各地域・団体の取り組み

東村山社保協

東村山社保協は、6月14日に「第2回東村山社会保障活動交流会」を、東村山市民センターで開催します。

この交流会は、東村山にある社会保障推進に関わる活動をしている様々な団体がお互いに日常の活動や思いを演題として発表しあい、団体間の交流と今後の運動の推進をはかり、市内社会保障運動の活性化と「愛」と「勇気」をもらえる交流会です。

第1回（昨年2月開催）の参加者からは、「東村山の社会保障運動の歴史と人々の努力に改めて心が震えた」など感動のコメントも寄せられました。

今回の交流会には、東京土建東村山支部、年金東村山支部、新婦人、西都保健生協東村山支部と北多摩生協診療所、養育院分会、原水協東村山協議会から発表が予定されています。

（会長 武城 卓二）

なんでも相談会

5月10日、「第6回まちなんでも相談会」が小田急線



町田駅カリヨン広場で開催されました。

この相談会には、町田社保協、まちだ・さがみ総合法律事務所、東京土建、新婦人、町田学童保育分会、町田地区労などからスタッフ70人が参加し、相談件数は34件でした。

当日は、台風一過の大変暑い日でしたが、相談会場には、恒例の「あそびの広場」を設け、学童指導員による「けん玉遊び」や土建が用意した

「木つ端遊び」も行いました。相談会を知ったきっかけは、「通りすがり」が3割強、「チラシ」が3割弱、その他4割でした。

相談で一番多かったのは「暮らし」と「労働・雇用」が各7件、「年金」が6件、2年間連続で多かった「相続」が4件でした。

消費税が上がったのに年金が減らされ、暮らしに困っている方がさらに増えたのか、相談者の4割が70歳以上でした。

また、この相談会は毎年5月の第2日曜日に開催していますが、市民に定着したのか、昨年・今年と2年連続で相談

にみえる方もいらしていました。

（町田社保協 八柳 ひろ子）



STOP 安倍政権！ 6.13大集会

日時

6月13日(土)12時半～

会場

東京臨海広域防災公園

りんかい線 国際展示場駅下車・徒歩4分
ゆりかもめ 有明駅下車・徒歩2分

第43回 東京社保学校

日時

2015年7月20日 (月)
午前10時開会～午後4時半 (9時半開場)

会場

けんせつプラザ東京

①安倍社会保障改革のねらいと運動の課題
—医療改革を中心に—

後藤道夫・都留文科大学名誉教授



②いま、沖縄で起きていること

島 洋子・琉球新報東京報道部長



③プライバシーゼロの監視社会に
—マイナンバー導入の危険性—

笹山尚人・弁護士



講演

※資料代・500円(当日ご持参ください) ※昼食は各自でお願いします

第43回東京社保学校 参加申込書 2015年 月 日

締め切りは7月16日です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	参加者氏名

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel.03-5395-3165)

FAX 03-3946-6823